

## II 本部よりのご連絡とご報告

### 1. 同窓会連合会第10回全国大会開催の案内

同窓会連合会第10回全国大会及び幹事会を下記要領で開催いたします。

- ・ 日時：10月18日(金) 17:30～20:30  
17:00～18:00 幹事会 地域同窓会会員拡大活動、校友会との協働体制等につき話し合います。  
18:30～20:30 全国大会 式次第等詳細は検討中
- ・ 場所：学士会館202号(例年の320号室でなく、ステージのある会場です)
- ・ 参加資格：連合会会員同窓会役員・幹事・会員、大学役員・幹部、協賛広告協力企業代表その他。
- ・ 会費：5000円
- ・ 出席申込：追って、各事務局にご案内をメール添付で送りますので、返信用紙にてご出欠をご連絡ください。

### 2. ホームカミングデイ(10月19日)の連合会企画

本年のホームカミングデイでは、連合会用テントを設け、① 地域同窓会入会勧誘(神奈川・千葉等、入会活動を希望する会)、② 在京県人会設立呼びかけ、③ 東大新聞母校寄贈キャンペーン、④ 東大利き酒会コラボ(酒のつまみ提供)等を行うことにしました。本部は人手不足ですので、ホームカミングデイ見学がてら、テントにお立ち寄り頂き、短時間でもお手伝い頂ければ幸いです。

### 3. 8月1日 連合会運営委員会及び事務局開所記念懇親会の開催報告

- ・ 15:30より、東京・関西・神奈川・千葉・埼玉・山口・鎌倉及び本部の役員・幹事16名の出席を得て、連合会運営委員会を開催し、7月5日に開催された校友会役員会の議事要旨を説明し、今後の方針を議論しました。9月下旬には校友会メンバーと連合会メンバーで同窓会ビジョン及び協働体制についてのプロジェクトチームがスタートする予定です。
- ・ 18:00からは、上記メンバーに加え、大学より津田徹副学長と金吉卒業生課長が出席し、皆様の差し入れのお酒やつまみで例年の通りだが賑やかな開所記念懇親会が開催されました。

### 4. 東京大学新聞定期購読の母校寄贈キャンペーン 第2号は山形赤門会、第3号は東叡银杏会 感謝！！

前号でご案内した、「地方高校生に大学や東京での学生生活の情報を届け、(特に女子学生の)東大進学を支援する」ための東大新聞定期購読寄贈キャンペーン呼びかけに対し、

- ・ 第1号は、鎌倉淡青会会員石川勝己さん(S42文)が母校愛知県刈谷高校に2年間購読を寄贈されました。
- ・ 第2号は、山形赤門会が会の財源を活用し、会員の多くの出身校である山形東高校に1年間購読を寄贈されました。自主費用で東大新聞を購読するとなると、なんで東大だけとの声も出るようで、東大同窓会が間に入って寄贈することは高校も喜んでいようです。
- ・ 東大新聞社も100校ほどの高校に定期購読を実現しておりますが、皆様もよろしくお願ひします。
- ・ 10月から消費税増が予定され、定期購読の価格につきましては、下記の料金が適用されます。

9月24日号までのご契約：(1年間)¥7,300・(2年間)¥14,200

10月1日号以降のご契約：(1年間)¥7,400・(2年間)¥14,400

\* 支払時期による価格変更ではなく、あくまでもご契約開始時期を基準にしています。

例えば、10月1日号(通算2900号)開始～1年間の購読を申し込み、代金をお支払いしたのが9月30日付けでも、新価格の¥7,400となり、9月24日号(通算2899号)開始～1年間の購読を申し込み、代金をお支払いしたのが10月1日付けでも、旧価格の¥7,300となります。

要するに、9月24日号(通算2899号)以前開始までの契約であれば、旧価格でお申し込みいただけます。

## 5. 五神総長の著「大学の未来地図～知識集約型社会を創る」の勧め



- 第1章 まずは大人が頑張ろう  
 第2章 これから世界はどう変わるのか  
 第3章 強力な社会インフラとしての大学  
 第4章 ビジネスパートナーとしての大学  
 第5章 大学は面白い！  
 第6章 東大の経営改革  
 第7章 研究に打ち込める大学へ

五神 真 著  
 ちくま新書 新書判 208頁

刊行 2月5日  
 ISBN 9784480072016  
 本体 760 円+税

「大学の未来地図～知識集約型社会を創る」(ちくま新書・本体価格760円+税)を全ての会員同窓会会長・事務局に配布しました。

帯紙には「今こそ、大学の出番！ 大学のポテンシャルを社会変革へと結びつけることで、日本はまだまだ闘える～東京大学総長によるまったく新しい大学論！」とあります。

総長著書で文庫本になったのは初めての試みです。東京大学という大きな船の役割を認識し、より喫緊の実に多くの問題解決を優先する総長の取り組みが、とてもわかりやすい文章と時々のソフトなコラム等を通じてよく理解でき、同窓会の在り方をも考えるきっかけになると思います。

同窓会関係者としては必読の書としてお勧めです。

## 6. 「東大基金がクラウドファンディングのプラットフォームに！」

学内広報1524号・2019/07/25にて、表記の記事が一面に掲載されていました。従来の呼びかけに比べてクラウドファンディングは同窓会会員以外の多くの方々にメッセージが届き、ある意味で、思いがけない人々も協力してくれるようです。同窓会財源強化にも活用を検討すべきと考えます。



## 7. 在京の会促進～選択的に推進

この数年、在京の地方学生・卒業生・教職員の集まり、特に新入生歓迎の会は、徳島、鳥取、山口の三県以上に拡がっておりません。地方にいる卒業生・在京の地方出身者の絆の強化は大切です。本部としては、大学・県人会・学生会などのルートを通じて、東京より離れた県を中心に選択的に在京の会設立を推進したいと考えております。ご協力お願いします。

## 8. 東京六大学交流促進

東京六大学交流は東大同窓会設立の契機となったケースが多く、新たに企画したい会の参考にと、六大学交流会の式次第などの情報を集めています。会の活性化という点からは、お互いの総会などへの一部役員相互出席を一步進めて、各校が幹事持ち回りで行う六大学主催の集まり(新年会やゴルフ大会など)など、より多くの会員が参加する企画の推進が会員増のためにも効果的だと思います。関心があればお問い合わせください。